

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和6年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	L C A国際小学校北の丘センター（相模原市立北市民健康文化センター）
指定管理者名	北市民健康文化センター運営共同事業体 （公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社フクシ・エンタープライズ）
指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため （相模原市立市民健康文化センター条例第2条）
施設概要	所在地 緑区下九沢2071-1 ・敷地面積 9072.88㎡ ・建築面積 4,454㎡ ・延床面積 9,069㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨（地下1階 地上3階） 1階 プール、展示コーナー、トレーニングルーム 2階 障害者プール、娯楽室、談話室、多目的会議室、講習室 3階 浴室 大広間
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計（人）	213,871	240,464	237,548				
利用料金合計（円）	53,108,095	58,570,405	52,190,450				

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	2指標の平均達成度は目標値の98.7%となるため、B評価とする。 【指標1：プールの利用人数】 令和6年度は夏季に発生した地震により冷房設備の不具合が発生し、繁忙期に48日間、館内の室温が高温となったことが利用者の減少に繋がりを、前年度に引き続き目標値を下回り達成度は86.6%となった。しかし、達成度は前年度16.5%増で直近3年間では最高値となっている。コロナ禍の影響が無かった平成30年度実績値176,450人と比較しても約83%まで回復している。特に、令和5年10月の市内在住・在学の子どもの料金の無料化により、子どもの利用者数が増加しており、プール利用者の回復に寄与しているものと思われる。 【指標2：自主事業の参加人数】 前年度と比較して、参加者が約1.8%増加し直近3年間では最高値となった。コロナ禍からの回復により、アクアビクスやトレーニングルームの運営を中心に大きく参加者を伸ばしたほか、北の丘フェスタといった集客イベントの来場者数の増加が大きな要因となった。

指標1	
指標名（単位）	プールの利用人数（人）
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進が達成されるため、成果指標とする。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（単位）	211,000	213,000	168,000				
実績値（単位）	132,980	149,285	145,448				
達成度（%）	63.0%	70.1%	86.6%				

指標2	
指標名（単位）	自主事業の参加人数（人）
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターの諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（単位）	32,000	32,000	32,000				
実績値（単位）	26,166	34,882	35,448				
達成度（%）	81.8%	109.0%	110.8%				

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	【「健康保持・増進」を推進する事業】⇒○ アクアウォーキングや日赤水上安全法講習会などでは予定参加数を大幅に上回る参加者がおり、利用者のニーズにあった事業を実施していたと評価できる。令和6年度は夏季に冷房の不調が発生したため施設利用者の減少が自主事業参加者減少に繋がっており、これは指定管理者の責によるものではない。引き続き利用者の新規獲得と定着、収入の確保などを目指し、事業の充実を図ってほしい。 【「文化の振興・福祉の充実」を推進する事業】⇒○ 前年度と同様に大盛況だった初めての着付け教室に加え、よせ植え教室や初めての陶芸教室なども参加者が大幅に増えている。また、写仏教室は写経も体験できる様にしたり、陶芸教室では角皿やマグカップを作る等、過去の参加者アンケートに基づき内容をリニューアルしたことや、教室参加費用の支払いに電子マネーを追加して利便性の向上を図ったことも増加の要因と考えられる。引き続き利用者の新規獲得と定着、収入の確保などを目指し、トライアンドエラーを行いながら事業の充実を図ってほしい。 【「地域のふれあい・魅力づくりへの貢献」を推進する事業】⇒○ 代表的な集客イベントである「北の丘フェスタ」では、体操教室無料体験やプールで水上アスレチックなど施設内で大人も子供も楽しめる様々な催し物を実施するなど、施設の魅力づくりに努めている。また、小さな親子連れが利用する施設の特性を活かし、“子供用品のお譲り会”は、地域の集客施設としての魅力向上に一役買っているものと思われ、さらなる施設の活性化に向けて取組を継続してもらいたい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
「健康保持・増進」を推進する事業	通年	プール教室や体操教室等の事業 (42事業)	○
「文化の振興・福祉の充実」を推進する事業	通年	「寄せ植え教室」や「絵手紙教室」等の事業 (10事業)	○
「地域のふれあい・魅力づくりへの貢献」を推進する事業	通年	近隣施設と連携したスタンプラリーや展示コーナーを活用した地域サークルの発表・展示等の事業 (21事業)	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	本年度は目標値を下回ったが、回答内容から冷房が不調となったことが利用者の満足度低下にも繋がったと考えられる。他の意見では施設が古いとのはあるものの、子ども料金無償化を歓迎する意見や監視員の適切な対応等への意見があるなど、施設管理者の運営体制については利用者のニーズに沿ったものと評価できる。 また、調査時に要望があった施設での飲食環境や障害者プールでのホースの収納方法を直ちに改善させたことについても評価ができる。引き続き、ニーズの把握に努め、調査結果を踏まえて新規事業を展開するなど、今後のより良い施設運営に期待したい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査（607件）（令和6年7月～8月）
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（％）	90.0	90.0	90.0				
実績値（％）	91.3	91.4	85.9				
達成度（％）	101.4%	101.6%	95.4%				

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	文化事業開催時	参加教室に関してのアンケートを実施。（文化教室のみ）教室終了時に回収。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	本体事業収支及び全体収支が赤字ではあるものの、指定管理者の団体本体の経営状況については特段の課題はないため、B評価とする。赤字の要因として、人件費や原油価格・物価高騰等による光熱水費の大幅な増加、空調不具合によるスポットクーラーなどの賃借料や年度末にレジオネラの対策として高額な修繕が発生したことが要因として挙げられるが、指定管理者の責めによらないものとする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入（a）		196,153	201,076	275,236	
指定管理料		147,808	144,982	194,996	
利用料金収入		41,145	47,237	52,191	
その他の収入		7,200	8,857	28,049	
支出（b）		239,934	239,487	292,664	
人件費		105,987	107,027	127,361	
本社管理経費		8,879	8,609	5,048	
その他の支出		125,068	123,851	160,255	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		-43,781	-38,411	-17,428	
自主事業収入（d）		23,268	26,787	26,268	
自主事業支出（e）		5,775	5,840	12,486	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		17,493	20,947	13,782	
全体収支 【(c)+(f)】		-26,288	-17,464	-3,646	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和7年3月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	×
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

プール利用者数については、令和5年度実績から微減した。夏季に発生した地震により冷凍機の不具合が発生し、繁忙期に48日間、冷房が不調となったことが大きな要因である。不具合発生前の4～7月においては、令和5年度を上回る実績だったため適切な施設管理を図っていきたい。

自主事業の参加人数については、生後6か月から中学生まで途切れることなく参加可能なプール教室、日中から夜間まで様々な種類を実施した体操教室などを中心とし、内容を拡充させた文化教室等を実施したことで目標値を達成することができた。

また、施設の認知度向上と利用者数の増加を図る中で、各種リユース・リサイクル体験を実施したことにより初めて施設を利用する方からの問い合わせも多く、認知度向上に寄与したと考える。

10 所管課意見

・成果指標である「プールの利用人数」について、子ども料金無償化による利用者増加の期待もあったが、施設の不具合等の影響もあり目標値に届かなかった。更なる周知や閑散期のプール利用促進等をおこなうことで年間を通して利用される施設とし、利用者の増加を図られたい。

・成果指標である「自主事業の参加人数」が、昨年度実績及び目標値を上回っている。とりわけプール等を中心とした健康保持・増進を目的とした事業や北の丘フェスタやクリスマスイベントなど、施設の特性や季節を反映したイベントを開催する等、多様な世代をターゲットに魅力的な事業が多数実施されており高く評価できる。

・開所から26年が経過し施設の老朽化が進行する中で、難しい維持管理となっているが施設を休館することなく維持できている。一方で空調設備の不具合やレジオネラ菌の発生等により一部施設運営に影響が出ているため、今後必要性や緊急性等を加味したうえで、予算の範囲内で最大限の効果が出るよう、修繕をはじめとした施設管理を実施するとともに、市と緊密に連携を取り維持管理をお願いしたい。

11 選考委員会意見

・施設の老朽化により、大規模改修までの運営は様々な苦勞を伴うと思われるが、適切な管理運営をおこなっていただきたい。ただし、安全第一のため、無理はせずに、何かあった場合は勇気を出して閉館することも視野に入れた管理運営をお願いしたい。

・施設の利用者が増えていないのは、施設の不具合で全て説明がつくのかどうかは精査してほしい。また、新しい取組等でカバーできるのであればお願いしたい。

総合評価（自動判定）

B

(60/100)

